



なばり

2019年(令和元年) 11月10日発行

主な内容

- 2……「認知症の人と家族の会」つどい・交流会を開催
- 3～6……なばり市議会だより
- 7……施設ご利用ガイド
- 8……第71回人権週間関連行事

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉ pr@city.nabari.mie.jp

名張にもあった甚大な被害

昭和34年9月伊勢湾台風の教訓

昭和34年9月26日に紀伊半島に上陸し、伊勢湾を通過した「伊勢湾台風」。新町橋や鍛冶町橋などの主要な橋梁はほとんどが流出。堤防は472ヵ所決壊した。市内全域で田畑の流出や埋没などが起こり農業関係の被害も甚大。記録に残る名張の大水害となった。

- ▼死者 11名
- ▼行方不明者 1名
- ▼被災者 15,927名
- ▼家屋の被害(床下浸水、家屋流出など) 約3,100戸



▲伊勢湾台風で流出した新町橋(松田さん撮影)

現在の新町橋▶



▲伊勢湾台風後、新町の泥を撤去する様子(松田さん撮影)

経験者が語る 一変したまちに絶句

60年前の伊勢湾台風が名張市に襲来していたとき、私は19歳で勤務先の大阪にいました。翌日、名張市に戻って来ましたが、本町辺りからまちの様子が一変していました。



松田 賢治さん
(新町在住)

流された川の橋、泥だらけの道、浸水した家々。幸いにも私の家族は無事でしたが、建てたばかりの家に残ると言って残念ながら亡くなられた人もいたようです。

当時は、情報を得る手段が少なかったのです。ことの重大さに気付かず逃げ遅れた人もいたかもしれません。しかし今は、情報を得る手段がたくさんあり、万が一のときの対策や避難のタイミングを知ることができます。伊勢湾台風を知っているからこそ、私は9月・10月の台風が他人事とは思えません。災害時には危険が迫る前にまず避難することが重要だと思いますね。

今こそ高める

命を守る「防災力」

今年の9月・10月に続けて日本に上陸した台風は、東日本を中心に甚大な被害をもたらしました。幸い市内では人的被害や大きな被害はありませんでしたが、全国各地でこれまで大規模な自然災害が繰り返し発生しています。

今号では、本市でも過去に甚大な被害を受けた伊勢湾台風を振り返るとともに、総合防災訓練や家庭でできる備えについてお知らせします。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

情報 気象情報や市からの情報を入手

台風や集中豪雨から身を守るため、テレビやラジオなどで最新の気象情報に注意しましょう。市が災害対策本部を設置した際、避難や災害情報、避難所開設状況など、携帯電話に電子メールでお知らせします。右記のQRコードから登録できます。



防災ほっとメール

備蓄 日常生活の中で無理のない買い備えを

大規模災害時は、電気・ガス・水道などのライフラインが止まります。食料品や生活必需品は、少し多めに購入しておきましょう。そして水、乾めん、缶詰などは使った分だけ買い足すことで、日常的に備蓄ができます。



確認 ハザードマップの確認

自分の住む地域や職場などに、河川の浸水や土砂災害の危険がないか。いざというとき、どこへ避難すればよいか。避難経路などをハザードマップで確認しましょう。※市HPでも公開しています。



共助 市総合防災訓練に参加する

11月16日(土)

午前9時～正午

場所/各地域の市民センター

小中学校など各地域の避難所

※当日、午前9時から防災ほっとメールやラジオなどで一斉に訓練を広報



災害が起きたときは、隣近所での支え合いが重要です。いざというときに備え、防災訓練に参加ください。

市総合防災訓練では、市内15地域で避難訓練や避難所開設・運営訓練が行われます。

「伊勢湾台風から60年 これからの防災・危機管理について」

知事と市長の1対1対談

日時 11月30日(土)午後1時30分～2時30分

場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)

◎申込不要。参加無料
要約筆記・手話通訳・磁気ループあり

☎ 総合企画政策室 ☎ 63-7389



名張市長
亀井 利克



三重県知事
鈴木 英敬



ケンコー! マイレージ対象

義援金について

近年多発する自然災害の被災者を支援するため、名張市では市役所1階ロビーに設置している義援金箱、または、市役所1階生活支援室の窓口に義援金の受付をしています。市役所にお越しの際は、義援金へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。☎ 生活支援室 ☎ 63-7582